



第63回卒業式(3月5日)より

はなむけの言葉

校長 佐藤 理仁

新型コロナウイルス感染症による度重なる臨時休校と様々な活動制限、そして、大切な仲間である さんとの別れなど、不安で辛く悲しい出来事を乗り越え、今ここに卒業証書を手にした卒業生のみなさん。そして、どんな時も温かく見守り、励ましてこられた保護者の皆様、本日はご卒業おめでとうございます。

昨年4月に3年生と初めて出会ったときの第一印象は、「とても素直で分別がある」生徒だということでした。この3年生なら、これからの城北のあるべき姿について、自分で考え判断し、大人に頼ることなく行動できるはずだと、その時に思いました。そして期待通り、みなさんは様々な場面でリーダーシップを発揮して、わずか1年で、まさに「生徒の、生徒による、生徒のための」新しい城北の進むべき道を示してくれました。

4月以来、朝のあいさつ運動が1日も休むことなく続けました。生活委員会をはじめ、級長会や部長会、そしてボランティアの生徒が集い、玄関前は朝から活気がありました。そして、それがいつの間にか広がり、校舎中に爽やかなあいさつの声が響くようになりました。当たり前前を地道に毎日続けることの大切さと、その力の大きさを改めて実感しました。

9月の体育祭では、練習の段階から、学年を超えた生徒の信頼関係と団結力の高まりを見ることができました。そして当日は、仲間のためにベストを尽くす、みなさんのひたむきでたくましい姿と、敵の軍に対して爽やかな拍手やエールを贈るみなさんの心の広さと思いやりの深さに私は強く心を打たれました。

その他にも、部活動での涙、合唱祭の透き通る歌声、笑顔と潤いを与えてくれた専門委員会の活動など、思い出は尽きないのですが、そこにはいつも若者らしい爽やかな笑顔があり、仲間を大切に思う優しい気持ちがあり、時に仲間と切磋琢磨する真剣な眼差しがありました。今年の温かく居心地の良い城北の雰囲気の原因は、みなさんの心そのものであったと思います。

みなさんの思いや願いが、城北の新しい伝統となって、未来へと引き継がれていきます。後は安心して在校生に任せてください。彼らは十分信頼できる素晴らしい後輩であります。

最後に、私が大切にしている言葉を贈ります。「一期一会」です。今日が最後の出会いになるかもしれないと覚悟して、今日一日を相手のためにベストを尽くすという意味でしたね。私は、みなさんに出会えて本当に幸せでした。ですから、私もみなさんに負けないようにベストを尽くしてきたつもりですが、残念ながらお別れのときがやってきました。

在校生 298 名と教職員一同、そして、本日みなさんの晴れの姿を見届けにおいでくださった立会人の方々と共に、心から感謝の気持ちと未来へのエールを贈ります。135 名の卒業生のみなさん、今日この時を忘れることなく、4月からの新しい出会いを大切にしてください。みなさんの未来は文句なく光り輝いています。

感動の卒業式をありがとう ～第63回卒業式より～

3月5日(土)、第63回卒業式を行いました。担任の呼名に卒業生はしっかりと返事をし、一人一人に校長先生から卒業証書が手渡されました。式後の卒業合唱も3年生らしい、力強い素晴らしい歌声を披露しました。感染症対策のため3年連続でご来賓をお招きすることはできませんでしたが、たくさんのお祝いメッセージをいただきました。また、1・2年生はビデオ会議システムを使って教室で参加となりましたが、しっかりとした態度で臨むことができました。



卒業式後、最後の学活で学級担任とのお別れをしました。担任は一人一人に声をかけながら最後のメッセージを贈りました。天候にも恵まれ、生徒玄関前では名残を惜しむ生徒、保護者の姿がたくさんありました。新たなステージに歩み出す卒業生が、それぞれの場所で活躍することを職員一同心から応援しています。

城北中学校に新たな伝統を築いてくれた卒業生に感謝の気持ちでいっぱいです。

1・2年生へのバトンタッチ～第2回生徒総会・委嘱式より～

2月28日(月)、臨時休校等で延期になっていた第2回生徒総会を行いました。議長が放送で議事を進行し、生徒は各自の教室でアンケートフォームを使って審議をしました。生徒会執行部は議案書作成だけでなく、質問への回答をデジタル化し、タブレット端末で閲覧できるようにするなど、様々な工夫をして準備を進めてきました。そのお陰で、議事はスムーズに進み、すべての議事が可決されました。

また、翌日に生徒会委嘱式を行い、令和4年度の生徒会役員が新生徒会長より、委嘱されました。新役員を代表して総務代表と生活委員長が決意表明をしました。代表生徒は、3年生のリーダーシップに感謝を伝え、新たな城北中学校を築いていく決意を述べました。



卒業式後、1・2年生だけの専門委員会の様子です。新委員長、副委員長が初めて進行し、会を進めました。生活委員会では、今年度のあいさつ運動の評価と課題について話し合い、来年度の準備を進めました。

○人権集中学習【2月1日(火)・2日(水)実施】

人権問題をテーマとした講演会を実施しました。講師に新潟産業大学元教授の秋山正道様をお招きし、様々な人権問題についてお話をいただきました。

1・2年生は高校生の弁論大会の原稿や近年、起きた事件をもとに人権を守る意味や命の重さについて考えました。生徒はメモを書いたり、講師の話にうなずきながら聞いたりと真剣な態度で講演会に臨む姿がみられました。

3年生は部落差別問題の歴史的背景を学びました。そして、現在でもなお残る問題であることを改めて確認し、その解決に向けて部落差別解消推進法が制定されたことも学びました。講演会后に生徒一人ひとりが自分の考えをワークシートにまとめました。生徒のなかには、これまでの人権集中学習で学んだ内容と結び付けて考えを深めている様子が見られました。

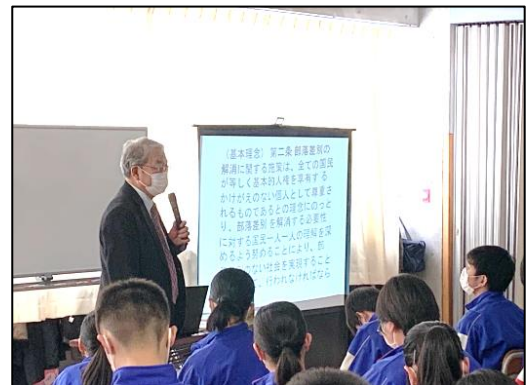
講演会では、すべての学年に共通して「問題を自分のこととして捉える」ことの重要性が語られました。自分のこととして捉えることで、様々な差別問題としっかりと向き合える、さらに問題解決に向けて自分には何ができると考えることができるとありました。

講演会を通して、学校生活をはじめ様々な場面で学んだことを生かしてほしいと思います。

「新潟県の抱える人権問題が多くあることを初めて知りました。そのなかでも部落差別問題はこれまでよく勉強してきたけれど、今回の講演会を通してまだまだ知らないことがたくさんあったなと思いました。

今までの学習をとおして様々なことを知り、学び、人権問題について考えてきたからこそ、私たちが人権問題解消のために動いていく必要があると感じました。」

3年生 生徒の感想より一部抜粋



「講演会を通して感じたことは2つです。1つ目は身近なところにも人権問題があるということです。私たちが住んでいる新潟県でも多くの問題が起きているからことを知りました。

2つ目は人権問題とは他人事ではないということです。当事者意識で普段から相手の気持ちを考えて過ごしていきたいです」

2年生 生徒の感想より一部抜粋

○3年生休日学習会【2月26日(土)・27日(日)実施】



2月18日から3日間の休校措置のため、3年生を対象に土日の2日間、休日学習会を実施しました。5教科ごとに教室を割り振り、一斉指導の時間をとったり、個別に教えたりしながら、学習支援を行いました。積極的に先生方に質問する姿もあり、生徒にとって充実した時間となりました。

○総合的な学習の時間（1年生ナカノマ探）のまとめ

1年生は総合の学習の時間を使って、中ノ俣をフィールドに年間をとおして、体験学習を行いました。各クラス工夫を凝らして1年間のまとめを行いました。右の写真は、お世話になった中ノ俣の方々に発表した1組の取組の様子です。Googleミートを活用しました。班ごとにまとめた動画には、インタビューや体験活動の様子が映し出されました。中ノ俣の方々から、生徒の取組について多くのお褒めの言葉をいただきました。この他にも、附属中学校1年生との交流をとおして、プレゼンテーションでのまとめを発表したクラスもあります。多くの方々からのご協力ですべてよい学習となりました。



4月の予定

※今後の感染症の状況により変更になることもあります

4月4日(月)	学級編制発表	4月19日(火)	全国学力調査(3年生)
4月7日(木)	始業式・新任式・入学式		専門委員会
4月11日(月)	NRT 学力検査	4月20日(水)	教育相談(~22日)
4月12日(火)	生徒会オリエンテーション	4月21日(木)	歯科検診
4月13日(水)	発育測定	4月25日(月)	眼科検診
4月15日(金)	PTA 総会・授業参観	4月27日(水)	3年内科検診



お願い

新型コロナウイルスに感染した生徒等への差別やいじめ防止について

(新潟県教育委員会より)

今、日本は世界と協力しながら新型コロナウイルス感染症を広げないように、たくさんの方々に取り組んでいます。皆さんも、自分でできることを考え、下にあるような感染予防のための対策をしっかりと行えるよう取り組んでください。

また、我慢することも多い日が続いています。そんな中で、皆さんが気持ちよく生活を送っていくために次のことに気を付けましょう。

- 不安なこと、心配なことがあった場合は、先生や家族等、頼りになる周りの大人に相談しましょう。
- 不安な気持ちを抱えている友達がいたら、積極的に声を掛けましょう。
- 感染した人、感染症防止のために働いている人、その家族等を傷付けるような言葉や行動、ワクチン接種の有無による差別やいじめは絶対にしないようにしましょう。
- 感染した人やその家族等にかかわるプライバシーを明らかにする行為やSNS等への書き込みは絶対にしないようにしましょう。

周りの友達を優しい気持ちで見ることが、すべてのいじめ防止につながります。いじめを見逃さない、許さない強い気持ちと一緒に、新型コロナウイルス感染症に負けないように自分でできる予防策を進んで行いましょう。

令和3年度の学校だよりは本号で終了です。1年間ありがとうございました。